

ふくい街角景気速報

(平成23年7月分)

調査期間 平成23年7月8日～25日 (回答率：96%)

概況

景気の現状判断DIは47.7となり、前月に比べ2.4ポイント上昇した。また、景気の先行き判断DIは43.0となり、前月に比べ2.6ポイント低下した。

■景気の現状判断DI 47.7 (前月比 +2.4)

家計部門を見ると、小売店やスーパー、コンビニエンスストアなどからは、震災の影響が落ち着き、客数や客単価などは震災前の状態まで戻ってきているとの声が聞かれた。一方、飲食関連や観光等の企業からは、消費者の節約ムードなどにより、客数や売上などは厳しい状況が続いているとの声も聞かれた。

企業部門を見ると、眼鏡や鉄鋼などの一部の企業では受注に動きがでてきたとの声が聞かれたものの、多くの企業からは電力不足、原材料価格上昇、受注量・受注価格の低下などを心配する声が多く聞かれた。

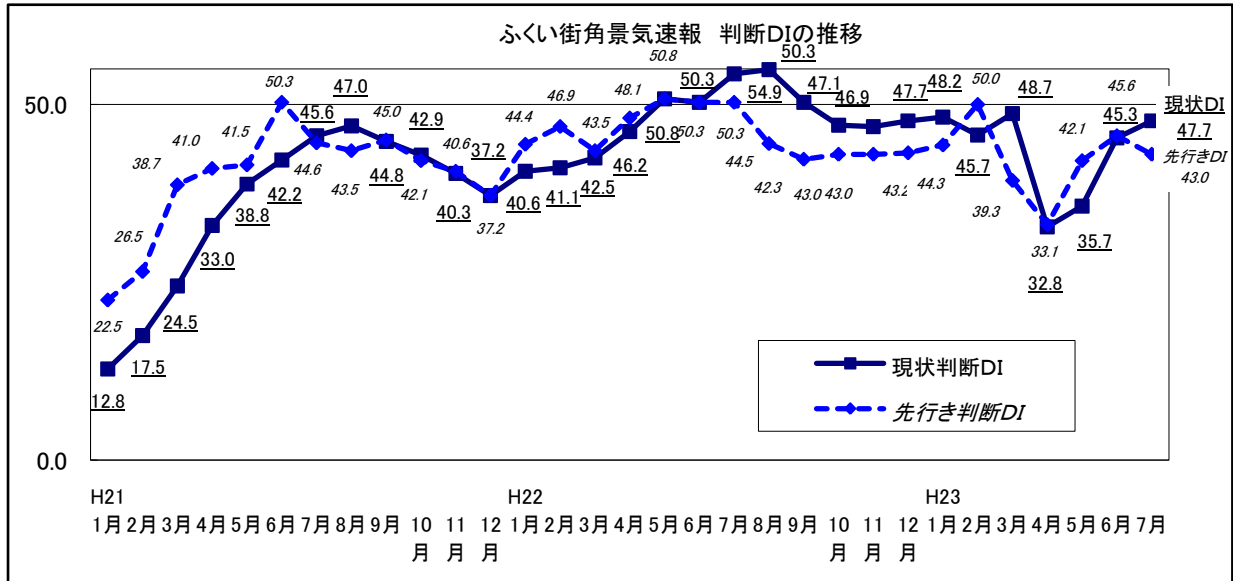
雇用部門を見ると、多くの就職支援担当者からは、震災の影響も落ち着き、求人にも動きがでてきたとの声が聞かれた。

■景気の先行き判断DI 43.0 (前月比 ▲2.6)

家計部門を見ると、電力不足やそれに伴う節約ムード、また、復興に伴う増税などから消費停滞を懸念する声が多く聞かれた。

企業部門を見ると、一部の企業からは市場の動向が回復してきたとの声が聞かれたものの、電力不足や円高、原材料価格の上昇などを懸念する声が聞かれた。

雇用部門を見ると、政治の停滞や電力不足等により雇用状況に影響を及ぼすとの声が聞かれた。



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	3 P
3. 判断理由 (1) 景気の現状判断の理由	4 P
(2) 景気の先行き判断の理由	7 P
4. 参考 (1) 調査対象の構成	10 P
(2) 調査票	11 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	39	21	13	5
坂井	坂井市、あわら市	14	8	6	0
奥越	大野市、勝山市	10	5	3	2
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	17	7	8	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	10	6	4
計		100	51	36	13

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
 悪くなっている 変わらない 良くなっている

調査結果

1. 景気の現状判断DI

今月の現状判断DIは、47.7となり、3か月続けて上昇した。
 先月と比べ、家計部門と雇用部門で上昇したものの、企業部門は低下した。また、変わらないとする回答が増加し、良くなっている、悪化しているとする回答は減少した。

家計部門を見ると、小売店やスーパー、コンビニエンスストアなどからは、震災の影響が落ち着き、客数や客単価などは震災前の状態まで戻ってきているとの声が聞かれた。一方、飲食関連や観光等の企業からは、消費者の節約ムードなどにより、客数や売上などは厳しい状況が続いているとの声も聞かれた。

企業部門を見ると、繊維や鉄鋼などの一部の企業では受注に動きがでてきたとの声が聞かれたものの、多くの企業からは電力不足、原材料価格上昇、受注量・受注価格の低下などを心配する声が多く聞かれた。

雇用部門を見ると、多くの就職支援担当者からは、震災の影響も落ち着き、求人にも動きがでてきたとの声が聞かれた。

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	H23 2	3	4	5	6	7	(前月差)
合計		45.7	48.7	32.8	35.7	45.3	47.7	+2.4
家計動向関連		39.8	45.5	28.1	35.8	45.3	47.5	+2.2
小売		41.9	47.9	30.9	37.1	41.9	50.0	+8.1
飲食		31.3	25.0	12.5	31.3	50.0	25.0	▲25.0
サービス		36.4	45.5	25.0	33.3	55.0	45.8	▲9.2
企業動向関連		48.6	51.4	40.7	36.0	47.1	46.3	▲0.8
製造業		51.0	52.0	45.0	39.6	48.1	48.0	▲0.1
非製造業		42.5	50.0	30.0	27.5	44.4	41.7	▲2.7
雇用関連		59.6	53.8	29.2	34.6	40.4	52.1	+11.7

(参考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」(6月調査結果)
 現状判断DI 49.6

○回答別構成比

	年 月	H23 2	3	4	5	6	7	(前月差)
良くなっている		0.0%	1.0%	1.0%	1.0%	0.0%	0.0%	+0.0
やや良くなっている		22.4%	16.3%	7.3%	9.2%	25.0%	24.0%	▲1.0
変わらない		40.8%	62.2%	25.0%	28.6%	36.5%	46.9%	+10.4
やや悪くなっている		33.7%	17.3%	55.2%	54.1%	33.3%	25.0%	▲8.3
悪くなっている		3.1%	3.1%	11.5%	7.1%	5.2%	4.2%	▲1.0

2. 景気の先行き判断DI

今月の先行き判断DIは、43.0となり、3か月ぶりに低下した。
先月と比べ、雇用部門は上昇したものの、家計部門、企業部門は低下した。また、良くなるとの回答が減少し、変わらない、悪化するとの回答が増加した。

家計部門を見ると、電力不足やそれに伴う節約ムード、また、復興に伴う増税などから消費停滞を懸念する声が多く聞かれた。

企業部門を見ると、一部の企業からは市場の動向が回復してきたとの声が聞かれたものの、電力不足や円高、原材料価格の上昇などを懸念する声が聞かれた。

雇用部門を見ると、政治の停滞や電力不足等により雇用状況に影響をでるとの声が聞かれた。

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	H23 2	3	4	5	6	7	(前月差)
合計		50.0	39.3	33.1	42.1	45.6	43.0	▲2.6
家計動向関連		49.0	36.5	33.2	44.6	44.8	41.0	▲3.8
小売		49.3	40.0	33.8	44.3	43.4	41.4	▲2.0
飲食		56.3	18.8	18.8	50.0	31.3	8.3	▲23.0
サービス		45.5	31.8	36.4	43.8	55.0	47.9	▲7.1
企業動向関連		47.9	42.9	34.3	39.0	45.7	42.6	▲3.1
製造業		51.9	48.0	35.0	39.6	44.2	44.0	▲0.2
非製造業		37.5	30.0	32.5	37.5	50.0	38.9	▲11.1
雇用関連		59.6	40.4	29.2	40.4	48.1	52.1	+4.0

(参考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」(6月調査結果)
先行き判断DI 49.0

○回答別構成比

	年 月	H23 2	3	4	5	6	7	(前月差)
良くなる		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	+1.0
やや良くなる		23.5%	15.3%	8.3%	15.3%	20.8%	10.4%	▲10.4
変わらない		56.1%	35.7%	26.0%	43.9%	46.9%	52.1%	+5.2
やや悪くなる		17.3%	39.8%	55.2%	34.7%	26.0%	32.3%	+6.3
悪くなる		3.1%	9.2%	10.4%	6.1%	6.3%	4.2%	▲2.1

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
②やや良くなっている	家計 動向	坂井	小売店	・震災の自粛ムードも落ち着き、売上、来客数が増えている。
		奥越	小売店	・依然一部商品の入荷が遅い。 ・販売量は前年度並みに持ち直しつつある。
		丹南	小売店	・中元もあり、販売量は増している。
		福井	百貨店、 ショッピングセンター	・新しいテナント開店の影響。
		福井	スーパー	・地震の影響もなくなり、客数、客単価とも前年よりやや伸びている。
		丹南	スーパー	・客単価は5月に悪化したものの、6月は上昇した。 ・震災前の状況まで改善。
		嶺南	スーパー	・東日本大震災の影響も見られなくなってきた。 ・客数が上向きになってきており、震災前まで回復。
		福井	大型小売店	・テレビの最終駆け込みで客数は多い。
		嶺南	コンビニエンスストア	・夏に向かい来客数の増加、夏商材の売上が増加。
		嶺南	コンビニエンスストア	・季節的な要因により売上等が増加。 ・以前は自粛傾向が強かった。
		嶺南	旅館	・震災直後の4月と比べれば、多少良くなって当然。
		福井	旅行代理店	・7月が対前年並みに戻ってきている。
		福井	タクシー	・客足が少し戻ってきた。
	企業 動向	福井	繊維	・受注の動きがアップしてきている。
		丹南	眼鏡	・秋ごろからの受注が入り始めている。
		丹南	眼鏡	・受注は回復してきている。 ・放射能汚染の情報が公開されていない。 ・企業は工場を海外移転させている。
		丹南	電気機械	・震災の影響を徐々に脱する気配がある。
		丹南	鉄鋼	・受注量の動きが良くなってきている。
		奥越	食料品製造	・住宅が建ってきている。
	雇用	嶺南	労働相談員	・5月の有効求人倍率は、敦賀・小浜ともに前年同月を上回った。 ・一方、新規求人倍率は、小浜市が前年同月を上回ったものの、敦賀市は若干低下した。
福井		学校就職担当者	・求人件数は10%多い。 ・震災後の影響もほぼ収まってきているようである。	
福井		人材派遣会社	・震災の影響も落ち着き、求人数に動きが出てきている。	
③変わらない	家計 動向	丹南	商店街	・来客数、販売量特に変化なし。
		福井	小売店	・来客数、販売量ともに変化なし。
		丹南	小売店	・来客数、客単価など大きな変化は見られない。 ・一方、例年より暑さが早く来ているので、今後は不透明。
		奥越	小売店	・少し良い様にも思えるが、節電モードによる買い控えの雰囲気があり、単価が低い。
		福井	百貨店、 ショッピングセンター	・4月以降は売上、客数、客単価ともほぼ前年並みで推移している。
		坂井	百貨店、 ショッピングセンター	・6月の客数、客単価は減少している。 ・7月の客数は減少しているものの、客単価は上昇している。
		丹南	百貨店、 ショッピングセンター	・客単価、客の様子、周辺地域の様子に変化が見られない。
		丹南	スーパー	・客は来ているが、買上点数が昨年を下回っている。 ・安く仕掛けをしても、必要外の商品は購入しない。
		坂井	スーパー	・震災特需は薄れつつあるが、特売品を中心に買上点数がアップしている。

③変わらない	家計 動向	嶺南	観光物産店	・震災後決して上向きではない様に感じる。
		福井	割烹	・前月末から土日の客も激減している。
		丹南	クリーニング店	・寝具類が少し出ている。
		福井	結婚式場	・来客数や販売量を見ても大きな変化はない。
		福井	ビジネスホテル	・徐々に宿泊、宴会の予約が入るようになったものの、特に宿泊の予約は割引される間際の予約が多い。
		坂井	旅行代理店	・全般的には販売量が前年を大幅に下回っている。 ・旅館、ドライブインなど協力機関の廃業も止まらない。
	企業 動向	坂井	繊維	・取引先の様子に変化がない。 ・円高は厳しい。
		坂井	繊維	・あいも変わらず多品種、小ロットである。
		福井	一般機械	・受注量や販売量の動きに変化がない。 ・電力問題は早急に対応しなければならない。
		嶺南	電気機械	・震災対応、レアメタル等原材料の上昇、海外の件費高騰が続いており、コスト 圧迫要因となっている。 ・一方、売価は成長している海外の発展途上国向けの売上比率が上がっており、新 興国ローカルメーカーとの競合となるケースも多く、損益環境は一段と厳しさを増 している。
		福井	化学・プラスチック	・受注量や販売量の動きに変化が見られない。 ・住宅市場は全体的には微増みたいであるが、受注量が増えるまでには至らない。
		丹南	食料品製造	・売上は横ばいだが、原材料価格は上昇気味。 ・外食のきびしい状況は変わらず。
		嶺南	医薬品	・一般用医薬品、健康食品の動きに変化がない。 ・原材料価格の上昇はコストアップにつながる。
		福井	IT関連	・受注の動きに変化がない。
		福井	金融機関	・東日本大震災の影響は全体として改善してきているが、影響の残る企業も見受け られる。
		福井	金融機関	・受注量、販売量について3ヶ月前と比較して変わっていない。
		福井	不動産	・1～2月以降、昨年同期と比較して落ち込んでいる。
		福井	運輸	・売上高が横ばい。
	雇用	奥越	自治体労働政策担当課	・雇用情勢は変わらず、低調。 ・H24卒の高校生の求人状況は、求職者に対して9割の申込状況。
		福井	労働相談員	・やや持ち直しているようだが、依然厳しい状況が続いている。
嶺南		学校就職担当者	・東日本大震災から4ヶ経過するも、福島原発事故による様々な問題が発生し、 解決の目途さえ見つけられずにいる状況にある。	
嶺南		ジョブカフェ担当者	・求人数の動きや求職者の動きからは、大きな変化は感じられない。	
福井		就職情報誌	・震災前の状況まで回復している。	
嶺南		就職情報誌	・当社の加入者やメーカー、協力業者と話をしても、東日本大震災の話題はない。	
④やや悪くなっている	家計 動向	福井	商店街	・来客数、販売額ともに若干下向き。
		嶺南	商店街	・自粛ムードは落ち着いてきたとはいっても、観光客や来街者が減少している。 ・高速道路の無料化が終わり、京阪神からの流入も減っている。
		福井	小売店	・販売量がやや下落傾向にある。
		嶺南	百貨店、 ショッピングセンター	・6月は、客単価・客数ともに、前年を下回っている。
		嶺南	ドライブイン	・高速道路の無料化実験と土日祝上限1000円料金の廃止に伴う出控えが響いて いる。
		嶺南	レストラン	・来客数、販売量、客単価いずれも減少。
		坂井	旅館	・震災の影響が残っているためか、温泉地全体の宿泊単価が下がってきている。
		福井	ビジネスホテル	・GW同様旧盆の予約の出足が悪い。 ・昨年は7月の売上が好調だったが、今年はまだ予約が少ない。
		坂井	観光・レジャー施設	・依然自粛ムードが続き、来客数等減少傾向。

④やや悪くなっている	企業 動向	奥越	繊維	<ul style="list-style-type: none"> ・車関係の内装材の回復は9月以降となりそう。 ・全般的に受注に力がなく、不安定要素が高まっている。
		丹南	眼鏡	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災の影響で出荷延期が出ている。 ・先行きの不安があるので、買い控えの影響があるのではないか。
		嶺南	化学・プラスチック	<ul style="list-style-type: none"> ・受注量が減少している。 ・経済全体として、円高、原材料価格の上昇は悪影響。
		丹南	伝統工芸	<ul style="list-style-type: none"> ・受注量や取引先の動きがやや悪化傾向。
		丹南	伝統工芸	<ul style="list-style-type: none"> ・受注量が減少している。
		福井	商社	<ul style="list-style-type: none"> ・6月は個人ガソリン、経由、重油、灯油等いずれも減少傾向。
		坂井	非鉄金属	<ul style="list-style-type: none"> ・震災のリカバリ需要が落ち着いてきた。 ・関東地区での計画停電のため注文量が減ってきている。
		坂井	IT関連	<ul style="list-style-type: none"> ・競争激化等で受注額が減少傾向にある。
		嶺南	建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・全体としては仕事量低迷の傾向にある。 ・加えて東日本震災による予算執行の遅れにより、資金繰り困難のため倒産が出たと聞いている。 ・測量業界は、5月末の集中豪雨による災害対応で緊急業務に救われている。
		福井	運輸	<ul style="list-style-type: none"> ・売上の昨年比伸び率が低下している。 ・7月に入っても弱含みで、昨年実績を割り込む可能性もある。
		雇用	奥越	学校就職担当者
福井			ジョブカフェ担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の有効求人倍率が若干低下している。
⑤悪くなっている	家計 動向	奥越	百貨店、 ショッピングセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・依然として客は低価格志向。 ・昨年対比が売上、客数ともに減少。
		福井	居酒屋	<ul style="list-style-type: none"> ・客数が減少しており、お金を使わなくなっている。 ・震災前の状況まではまだまだ。
		福井	駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者台数は、3ヶ月、前年同期いずれも減少しており、収入でも減少している。 ・個人消費の低迷等上向き材料が乏しく、先行きは不透明である。
	企業 動向	福井	化学・プラスチック	<ul style="list-style-type: none"> ・震災による影響が広範囲に出ている。顧客被災による稼働率低下や電力削減対策など。

3. 判断理由

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由	
①良くなる	家計動向	嶺南	コンビニエンスストア	・高速無料化実験の終了、小浜インターの開通がどう影響を及ぼすか未知数だが、節電意識で日中外出する人が増えると予測する。	
②やや良くなる	家計動向	嶺南	商店街	・海水浴シーズンに入り、さらに今月17日には小浜ICが開通するため、少しは人の流入があると思われる。 ・原発集中立地帯のため多少の影響はあると思うが、今年は市政並びに会議所設立60周年にあたり、沢山のイベントが開催されるので、期待している。	
		丹南	スーパー	・客単価は5月に悪化したものの、6月は上昇した。	
		坂井	観光・レジャー施設	・夏休み中は良くなってほしいと期待している。	
		福井	旅行代理店	・現状では変わらないが、今月の伸びが続くことを期待している。	
	企業動向	丹南	眼鏡	・震災以来、市場がやや活性化してきた感じがする。	
		丹南	電気機械	・北陸電力よりの節電要請もあるが、基本的には良くなるだろうという予測している。	
		福井	化学・プラスチック	・震災からの復興や顧客の稼働率回復が期待できる。	
	雇用	福井	労働相談員	・政治の停滞が復興、経済に影響している。	
		福井	学校就職担当者	・8月中旬ごろ、自動車関連では求人者をさらに増やすことも考えている様子。	
	③変わらない	家計動向	丹南	商店街	・政治が今のままでは良くなるとは思わない。
丹南			小売店	・低調なまま変化なし。 ・電力供給の問題も懸念される。	
丹南			小売店	・暑い日が続けば、消費量が増加することが期待できる。	
福井			百貨店、ショッピングセンター	・ここ3ヶ月は前年並みで推移しているが、先行きの見えない状況が続いている。	
坂井			百貨店、ショッピングセンター	・全般的な傾向として、購買意欲の減退や節約志向が続いている。 ・特に、衣料品や贅沢品など不要不急の商品についてはきびしい状況である。 ・一方、今夏も猛暑で、ドリンク類・扇風機・冷却商品・他は大きな伸びを示している。	
嶺南			観光物産店	・電力問題で先行き不透明である。	
福井			駐車場	・電力供給の低下や復興増税など、東日本大震災や原発事故の影響が当分続くと思う。	
福井			結婚式場	・これからの9～11月は、ウェディング業界にとってトップシーズンになるが、今の所変化が見えない。	
嶺南			旅館	・良くなる理由がない。	
福井			ビジネスホテル	・自粛ムードは解消傾向にあり、予約は徐々に回復している。 ・宿泊は稼働率重視の販売を徹底しているため、単価が上がらず横ばいの状況である。	
坂井			旅行代理店	・好転する要素が見当たらない。	
企業動向			坂井	繊維	・今の円相場は厳しい。
			福井	繊維	・繁忙期が終わっていくので、現状に比べると悪くなる。
		丹南	眼鏡	・国政は、国民不在、事なかれ主義が蔓延しており、真剣に将来を考えていない。	
		嶺南	電気機械	・成長確保の軸足は海外市場であり、新興国での国際的な競争力、特にコスト対応力が要。 ・原価面では円高、原材料高騰、海外の人件費高騰、労働力確保難等、課題も大きい。	
		嶺南	化学・プラスチック	・原材料価格の上昇などにより生産活動の停滞、消費停滞が懸念される。	
		福井	化学・プラスチック	・住宅着工の状況が回復に向かうには、3～5年先になると予想している。	
		丹南	伝統工芸	・受注量の動きに変化がない。	
丹南		伝統工芸	・東日本大震災の影響がどう出てくるか不安である。		

③変わらない	企業 動向	奥越	食料品製造	・ 変わらない。
		嶺南	医薬品	・ 景気回復の見込みもなく、当面現状程度の動きを予想している。
		福井	IT関連	・ 受注の動きに変化がない。 ・ 全体としては、円高や原材料価格高騰が懸念材料。
		福井	金融機関	・ 東日本大震災の影響については緩和してきている。 ・ 一方、具体的な資金面での相談が増加しており、東日本大震災復興緊急保証等により支援を行っている。
		福井	金融機関	・ 受注量、販売量等について一部の業種で増加が予測されるが、大きな変化はないものとする。
		福井	不動産	・ 震災復興は福井県での土地の動きに影響はない。 ・ 新築住宅の着工には、住宅エコポイントの終了、フラット35Sの金利優遇の終了とマイナス要因が多い。
	雇用	奥越	自治体労働政策担当課	・ 不安定な国政や節電などにより、企業の設備投資の意欲が薄い。
		嶺南	労働相談員	・ 震災復興とともに、景気も回復を続けると考えるが、夏場の電力需要の状況が良くない。 ・ 政府や関電の節電要請を契機に、どう影響を及ぼすかが気がかり。
		奥越	学校就職担当者	・ 景気に関しては、なかなか明るい話題がない。 ・ 一方で、なでしこジャパンの活躍はみんなに元気をくれるような気がする。ちょっとずつでも日本が元気に良くなってほしい。
		嶺南	学校就職担当者	・ 東日本大震災から4ヶ月経過するも、福島原発事故による様々な問題が発生し、解決の目途さえ見つけられずにいる状況にある。
		福井	ジョブカフェ担当者	・ 震災の復興による景気回復はまだ当分先になると考えている。
		嶺南	ジョブカフェ担当者	・ 電力や財政の問題など、課題が多様化しているなか、景気が良くなるとは想像しがたい。
		福井	人材派遣会社	・ 政治の停滞や電力問題が気がかり。
		嶺南	就職情報誌	・ 復興需要への期待もあるが、原発停止に伴う地元経済への影響が懸念される。
	④やや悪くなる	家計 動向	福井	商店街
福井			小売店	・ 新しい飲食店が出来ない。
福井			小売店	・ 相変わらず悪い状態で、暑さも影響してくると考えられる。
坂井			小売店	・ 高速道路休日1000円廃止の影響が出るのではないかと考える。
奥越			小売店	・ 消費税の増税が懸念される。
丹南			百貨店、 ショッピングセンター	・ 政情不安や災害の影響が懸念される。
奥越			百貨店、 ショッピングセンター	・ 国政が不安定で、先が見えない。 ・ 増税の話も悪化要因。
嶺南			百貨店、 ショッピングセンター	・ 節電志向に便乗した形で、一般家庭や企業においても節約志向に偏っていくと考えている。 ・ 敦賀市内のショッピングモールも、客数が減少気味。
丹南			スーパー	・ 電力不足による節約ムードが購入を控えさせる要因の1つになる。 ・ 物の値段が上がってきているため、更に、節約ムードを助長しそうである。
坂井			スーパー	・ 景気回復の遅れ、消費税増税など悲観的に見ている。
嶺南			スーパー	・ 汚染された稲わらを食べた牛の販売状況が分からないため、牛肉の売上が減少すると予測される。
福井			大型小売店	・ 地デジ化移行完了のため。
嶺南			コンビニエンスストア	・ 夏が終了すると客数は減少する。 ・ ただ小浜インターチェンジの開通がどこまで売上等に影響を与えるかわからない。
嶺南			レストラン	・ 日銀短観等では製造業を中心に景気の上向きが報じられているものの、地方の飲食店は未だ業績低下が続くと思われる。
丹南			クリーニング店	・ 夏物は家で洗って済まされるため、あまり期待できない。
坂井			旅館	・ まだ震災の影響が残っており、また、温泉地全体の宿泊単価が下がってきている。
福井			ビジネスホテル	・ 団体客中心で個人客（観光客）が少ない。 ・ 8月はほとんど団体客で推移している。

④やや悪くなる	企業 動向	奥越	繊維	・車関連の回復に期待がかかるが、円高・原燃料高に加え、内需についても弱含みで推移しており、先については不透明感が強まっている。
		坂井	繊維	・10～11月は縫製の端境期にある。 ・景気回復
		丹南	眼鏡	・東日本大震災の影響で出荷延期が出ている。 ・先行きの不安があるので、買い控えの影響があるのではないか。
		福井	一般機械	・受注状況が不透明かつ不安定である。 ・円高も懸念材料。
		福井	商社	・6～9月は、個人向けガソリンの需要期だが、節約傾向のため長距離は敬遠されるのではないか。 ・軽油も運輸や建設向けの元気がない。 ・工場向け重油は前年並みを期待しており、自動車関連工場は7～9月フル生産を予想。
		丹南	食料品製造	・食に対する安全が注目されている。 ・消費力が低下しており、さらに低価格化志向が加速している。
		坂井	IT関連	・電力供給問題の長期化、沈滞ムード、円高等により、得意先の業績も落ち込んでいる。
		嶺南	建設業	・原電関係の動きが不透明、かつ予算や立地補助金など公共の予算減が見込まれ、周辺企業も活動を控えていく可能性がある。
		福井	運輸	・足元の状況が悪く、このまま推移するのではないかと考える。
		福井	運輸	・東日本大震災の影響により、取引先の業況悪化。
	雇用	福井	就職情報誌	・節電が続けばどうなるかわからない。
⑤悪くなる	家計 動向	奥越	百貨店、 ショッピングセンター	・『疲弊する地方経済とその暮らし』マスコミの表現するままだと感じる。
		福井	割烹	・高速道路無料化がなくなると同時に来客数も減り、町中を歩くと観光客も少なく、夜の街も淋しい。
		福井	居酒屋	・全然良くならない。 ・客数も少なくなって、店の先行きも不透明になってきている。
	企業 動向	坂井	非鉄金属	・これまでは夏場計画停電対応の前倒し需要があったが、これからは震災の“実需”が出て来て注文が減って来ると予想している。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		51
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	6
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長	2
ドライブイン等		
	経営者・スタッフ	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	2
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		13
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	4
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県産業労働部政策推進グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)